

月 報 (2013 年 8・9 月)

提出日 2013 年 10 月 7 日

国際戦略推進本部 下田 誠

今月の業務テーマ	
(1) 国際協力の実施方針を検討する。	具体的な行動目標 意見交換の上、実施方針の策定を目指す。
(2) 東アジア教員養成国際コンソーシアム事業の第 2 フェーズのまとめに向けた準備を進める。	具体的な行動目標 第 8 回東アジア教員養成国際シンポジウムに向けて国際共同研究を推進する。
実施内容	
<p>(1) について 【国際戦略推進本部の活動】</p> <p>前年度作成の東京学芸大学の国際化の推進に関する方針を再検討し、また国際協力の実施方針案をまとめた。国際協力機構 (JICA) などとも意見交換の機会を設け、国際協力の新たな方向性を模索した。</p> <p>(2) について 【東アジア教員養成国際コンソーシアム事業実施部会の活動】</p> <p>「東アジア教員養成国際コンソーシアム学生相互交流プログラム」(JASSO) と「東日本大震災被災地の教育支援ボランティア」(文部科学省スポーツ青少年局助成課題)、国際大学院プログラム (来年度方針策定の予定) について、それぞれ準備と検討を進めた。</p> <p>岩田康之教授と下田准教授は国際共同研究のまとめに関する協議をおこなうため、大阪教育大学の大脇康弘教授の研究室を訪問した。</p>	
成果	
<p>(1) について</p> <p>国際戦略推進本部の会議において、次の理解を共有した。</p> <ul style="list-style-type: none">・年度計画 30 番の国際協力事業は発展途上国への国際協力に限定されるものではなく、広く海外研究員と学生の受入れや附属学校との連携などを含む活動である。・また特定機関からの依頼を受け入れる形式ばかりでなく、本学教員による個人ベースの取組みを吸い上げる仕組みを整える方が現実的である。 <p>(2) について</p> <p>国際共同研究のまとめとして、最終年度終了までに日本語で成果を発表するための出版企画書を作成し、編集委員会 (藤井健志理事・副学長 [委員長]、大脇教授、岩田教授及び下田准教授) を組織した。また国際共同研究のメンバーによる英語での成果物の刊行も準備している。</p> <p>村松泰子学長、藤井理事・副学長、筒石賢昭教授、三石初雄教授、岩田康之教授、下田准教授、秋保聡国際課長及び 3 名の博士課程の大学院生は東北師範大学 (中国・長春市) で開催された第 8 回東アジア教員養成国際シンポジウムに参加した。三石教授は日本側を代表して基調講演をおこない、岩田教授はリサーチグループの中間報告をおこない、大学院生 3 名は各自の研究成果を英語・中国語で発表した。</p> <p>総長会議において、第 9 回シンポジウムを韓国教員大学校で開催することを決定した。</p>	
10月の予定	
「東アジア教員養成国際コンソーシアム学生相互交流プログラム」10月学生受入れ／「東日本大震災被災地の教育支援ボランティア」の実施	